

実践校に関する事項

学校区分	学校名	学校長名
小学校	清水小学校	栗川 万須美
学校所在地		
〒 648-0041 和歌山県橋本市清水2014番地 tel 0736(32)0307 fax0736(32)0460 e-mail shimizu@hashimoto.ed.jp		
担当者名		役職名・担当教科
山本 幸正		教諭 社会科

〔学校の概要〕

本校の校区は、橋本市の官庁街・繁華街の南に紀ノ川を隔てて位置し、橋本高野橋で結ばれている。民家の大部分は、紀ノ川に沿って南側に細長く東西に街を形成し、旧高野街道の歴史的な町並みを残している。地域住民の多くは、大阪方面を中心にした近隣地域へ通勤している。ひらたね柿やはたごんぼの生産などの農業も盛んである。また、国の伝統的工芸品であるへらブナ釣り竿の里として全国的に名が知られている。古くから高野街道の発展とともに成長してきた校区には数多くの史跡が残され、自然に恵まれた落ち着いた学習環境である。

研究実践に関する事項

対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年6年生 15名	職員 2名	清水地区
実践研究テーマ		
自ら課題を発見し、自他共に力を合わせて生きていこうとする子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域から学ぶ「黒河道」	

〔キーワード〕

世界遺産学習・情報活用能力・環境教育

〔単元目標〕

・世界遺産になるであろう「黒河道」を探索し地域の歴史遺産への関心を持ち、清水地区の歴史的価値について学ぶ。
・地域の、歴史的遺産（黒河道・織田家の墓・社寺など）を調べることで、地域の歴史的価値を見だし、地域に対する思いを深め愛着をもてるようにする。

〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕

全体 時間 （「地域にある世界遺産（黒河道）について学習しよう。」 15 時間 ）

〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕

- ・和歌山県世界遺産センター
- ・県世界遺産マスター
- ・地域の郷土史研究家瀬崎浩孝氏
- ・黒河道保存会のメンバー

実践に関する事項

〔単元指導計画概要〕

	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	・清水地区の歴史的遺産について調べよう。	・清水地区の歴史的遺産について地域の地図や書物を活用して、調べたい場所を確認したり、探検したりする。	単元の活動について、興味を持つ事ができているか。(発言・ノート)
2	・見つけよう「清水地区の歴史的遺産」	・グループで、清水地区の歴史的遺産についてまとめる。	・興味を持って積極的に活動に参加することができるか。(発言・態度)
3	・高野山の歴史について調べよう。 ・高野七街道と霊場高野山の関連について	・次世代育成事業に参加する事で、高野山や高野七街道について、基本的な情報をあらかじめ学習しておく。	・興味を持って積極的に活動に参加することができるか。(発言・態度)
4	・「清水地区の歴史的遺産」発表会をおこなう。	・情報機器(パソコンなど)を使い発表する。	・行動観察 ・プレゼン作品
5	・まとめ	・メモなどを活用しながら「黒河道」「世界遺産」について自分の考えをまとめる。	・友だちの意見をきちんと聞く。

〔単元学習の成果と課題〕

清水地区のある黒河道が世界遺産に登録されたこともあり、子どもたちは清水地区の歴史的遺産について興味を持って調べることができた。
途中までではあったが黒河道を実際に歩いたことで先人の苦労を肌で感じ取ることができた。また、黒河道がつながる「聖地高野山」を訪れたことで、より黒河道の果たした役割について理解できたように思う。

〔世界遺産学習の効果〕

- ・自分たちの地域にある世界遺産「黒河道」と霊場高野山との関連について、自分たちの足で歩いた事が子ども達にとって貴重な体験であり、和歌山県の世界遺産を意識するきっかけとなった。
- ・自分たちに残された歴史的遺産を大切にしていこうという意識をもてた。

〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕

自分たちの地域にある「世界遺産黒河道」の存在を知ることができたが、今後、どのような形で地域・学校が黒河道に関わっていくのか発展的な学習につなげることが出来なかったのが大きな反省点である。これについては、次年度の学年では是非取組を進めていきたい。



・黒河道を歩く
黒河道を歩いて…高野七街道の一つ、黒河道を歩いてみました。

・今日、くろこ道を歩きに行きました。でも、歩き始めると、めちゃくちゃきつくてたいへんでした。2回休んで弘法清水の所まで行きました。少しだけ水がたまっていました。カードに清水の絵を描きました。記録も残して行きました。山を下りてから織田家の墓も見に行きました。

・7月4日に黒河道探検に行きました。私は「まあ、探検」と書いてあったからゆるやかかなー」と、思ってたけれど、実際はものすごく急な坂で、ものすごく虫がいて、ものすごく暑かったです。でも、高台に行って景色をみていると、自然な風、空気がよくて元気がでてきました。昔の人はこんな険しい道を時間をかけて登ったんだなと感心しました。



・ゲストティチャーを招いて「黒河道」の学習を行いました。



黒河道の学習

今日、なつめちゃんのおじいちゃんに来てもらい、黒河道のことを教えてもらいましたが、他のことも教えてもらいました。例えば戦国・安土桃山時代の三代武将が出てきてわくわくしました。最後に、質問タイムで、上杉のことを教えてもらおうとしましたが「そこまでは」と思いあきらめました。今日は良い勉強になりました。

神様を信じた？

今日、瀬崎先生から黒河道のことを教えてもらいました。私が一番心に残った事は能を高野山でやって、ばちが当たったと言うことです。本当に雷が鳴り、雨がふったそうです。ちょっと黒河道とは違ったけれど、今まで以上に神様を信じました。

「なつめおじいちゃんの話」

今日、社会の時間になつめのおじいちゃんが来てくれ黒河道のことを教えてくれました。地図や写真があったのでとても分かりやすかったです。そして、話をしてくれました。空海のことや、いろんな人の墓があることを教えてくれたりもしました。高野山には、今年の夏休みにも行くと思うのでできたら見に行きたいです。

・校外学習（黒河道・高野山）
「高野山」



黒河道のことが分かった

10月14日に、高野山について勉強をしました。公民館にいて話を聞きました。動画を見てメモをとってから世界遺産センターの人が話してくれました。自然遺産、複合遺産、文化遺産の3つがあることを教えてくれました。長かったです。そして、次に高野町教育委員会の人が話してくれました。5つの道があり、石の道、土の道があると話してくれました。質問にも答えてくれました。一番人が通った道は町石道だそうです。黒河道は約17キロもあると分かりました。そして、話と質問が終わったのでお昼ご飯を食べました。とっても寒かったので手が冷たかったです。食べおわって奥の院に行きました。世界遺産マスターの人が案内してくれました。

まとめる ときに分かりやすくしたい。

10月14日に高野山で黒河道や世界遺産のことを学びました。まず、世界遺産について教えてもらいました。世界遺産には3つの種類があります。

- ①世界文化遺産 ピラミッドなど 人が作ったもの。
 - ②世界自然遺産 氷山、小笠原諸島など 地球が誕生してから自然にできた。
 - ③世界複合遺産 自然と人間が協力した。
- 他にも、いろいろ学びました。その次に奥の院に行きました。びっくりしたことは明智光秀の墓が本当に割れていたことです。石がそう簡単に割れるの～。と思いました。他にもいろいろ知ることが出来たのでまとめるときに分かりやすくしたいです。

「地元の文化遺産を学ぼう」

今日、黒河道と紀伊山地の霊場と参詣道のことについて高野山に勉強をしに行きました。まず、公民館に行って、世界遺産の登録の基準は「本物であることを証明する」ということだそうです。日本は登録されるまでに、20年かかりました。ヨーロッパの石の建築は本物、日本の木の建築はにせものと言われていたそうです。それから、高野山にはたくさんの伝説があります。これからは、高野山の伝説について調べたいと思います。

「黒河道、高野山」

金曜日に、奥の院と公民館に行きました。公民館では、DVDを見たり、世界遺産センターや高野町教育委員会の方に話を聞いて、文化遺産は人の手が加わってでき、自然遺産は自然にでき、複合遺産は人の手と自然が組み合わさってできたのが分かりました。質問では、地形によって道が大きくできないことや、楽な道を教えてもらいました。そして、昼ご飯を食べました。特に、お肉や卵焼きがおいしかったです。次に、奥の院に行きました。20万～30万ものお墓があるそうです。織田信長、明智光秀、徳川頼宣、浅野家、石田三成などの墓がありました。ワークシートには、徳川初代頼宣の墓をかきました。月曜日にはしっかりまとめよう。

・ふるさと学習発表会

1班…「高野山への参詣道」 調べ方は、パソコン・みんなのメモ・発見カード・地図・実際に聞いた話など意見（メモしたこと）黒河道約17キロメートル。橋本・九度山・高野町がつながっている。伝説…空海さんは、朝6時と夜10時に食事をとっている。

2班…「自然豊かで景色が最高黒河道」 ・調べ方…実際に歩いたことを参考にする。高野山で聞いたことを参考にする。
・調べたいこと…昔、登った人のこと。昔、高野山に登った人はどんな気持ちで登ったのか。登る日を決めていたのか。

3班…「私たちの身近にある世界遺産」
何を調べていくか。…どんなところが認められたのか。他の参詣道と違うところはどこか。世界遺産になったきっかけ。どうやって本物だとしょうめいするか。今の黒河道の状態を保つて行くためにどのように取り組みをしていくのか。
調べ方…パソコン・インターネット・パンフレット・本・聞いたことを元にする。黒河道の写真

・地域学習の発表会に向けて

2時間の総合

今日、2時間の総合の時間に、発表するのを書いたりしました。他の人が原稿を書いている間に伝説や地図を書きました。けっこう、がんばって他の人が地図を書いている間に原稿を書きました。鉛筆の色の濃さで他の人が自分か分かるので、がんばってかいたけど、めっちゃ濃くなりました。黒河道と他の説明が書けてよかったです。



やってよかったなあー

今日、黒河道の発表の練習をしました。はじめに原稿の読む部分を決めました。けれど、1班さんと同じような内容を書いていたんで変えなければならなくなったので、ちょっと「えっ」と思って、あきらめたけれど、5時間目の総合でやり直しできて、全部通しでできたので、1回あきらめたけれど、やってよかったなあーと思いました。当日、発表するのが楽しみになりました。

本番に向けて

今日、総合の学習（黒河道のことをまとめているもの）の発表の練習をしました。読むのはスラスラできたけれど、文の内容と写真を入れたりしました。班のメンバーは5人なので、読む紙も5枚にしました。実際に発表の練習をしたら、2分55秒でした。本番は大きく声を出して、ハキハキ言いたいです。

たくさんの発見があった地域学習

7月から始めた黒河道の学習は、黒河道が世界文化遺産に登録されたこともありクラス全員が熱心に学習を進めました。子どもたちが学習を進める中でたくさんの発見があり清水地区や高野山の歴史的価値を再認識したように思います。

- ・1班…「高野山への参詣道」高野七口とごんの話はごんのことをもっと知りたいと思いました。
- ・2班…「自然豊かで景色が最高黒河道」絶景スポットにもう一度行ってみたいとも思うし、もっと絶景スポットを見付けたいとも思いました。
- ・3班…「私たちの身近にある世界遺産」黒河道を自分の足で歩き、全容をもっと調べたいなとも思いました。

今回の発表は、1回の発表で終わるのではなく、次につながる発表だったと思います。